

【新刊紹介】

倉嶋厚著：モンスーン—季節をはこぶ風—

B 6 版 251頁 1972年 河出書房新社 580円

季節風は専門の分野以外に一般社会においてもいろいろの意味で用いられている言葉であり、われわれの日常生活と関係の深いものだけに、多くの人々にも割合によく知られ且つ興味をもたれている現象である。本書の著者は今日まで長い間この方面の研究をつづけ、前に他の諸氏との共著“季節風”でも重要な部分を担当執筆し、その後多方面にわたって多くの著書をもつ健筆家であるが、本書では季節風の現象を非常に平易に、また部分的には専門的の立場から記述された最近の好著であると言ってよいであろう。全篇は

1. 季節風の発見
 2. 季節風の分布
 3. 北西季節風
 4. 偏西風波動
 5. 南風の系譜
 6. 熱帯モンスーン
 7. 季節風と日本人
- の7章から構成されている。

元来モンスーンについての記述方法としてはどこまでも気象ないし気候現象として捉えるものと、人間社会や生活との関連において風土論的に記述するものとの二つがあるが、本書は前記の旧著“季節風”におけると同じようにこの両者を併用した方法が採用されている。すなわち章単位にこの二つを巧みに織りませたものであり、それだけ幅の広いものとなっているが、また反面において内容的にやや統一を欠いたような感じを受けなくもない。その最も大きな対照を示すのが第4章と第7章であろう。しかしこれは最初から二つの目的をもって書かれたものである限り、極めて当然のことであり、一般の人々にも専門家にも興味をもたせつつ、最後まで読みつけさせる魅力をもっている点で出色の書であろう。

豊かな知識と教養の書として凡ゆる分野の人々に推称し得る最近の好著と考えられる。(福井英一郎)

講演企画委員会だより

昭和48年度総会ならびに春季大会の告示の一部訂正。
(天気12月号表紙4)

4. 研究発表 5) 予稿原稿のメ切：4月8日(土)
—必着—を

5) 予稿原稿のメ切：4月8日(日)—必着—と訂正する。

予稿原稿提出の段階で講演を中止する場合には、メ切り日迄に必ず中止の連絡をすること。

【訂正】 Vol. 19 No. 12 の口絵写真2の右下、学会賞授与「清水清允氏」は「清水喜允氏」の誤りにつき、お詫びして訂正します。